

少しだけ好きでずーっと長く好き

好きという感情の持続時間を、細く短局的表現で表している。切なさを感じると同時に、子供っぽいはずら心というか、お茶目なところもあって面白い。技術的には、「ずーっと」の表記「ずうっと」「ず～っと」など、少し冒険してもいいのではないか。

誉めてるのけなしているの個性的

個性的という表現はほめ言葉なのだろうか？きっと誰もが不思議に思っていることだと思う。特にテレビの影響「個性的ですね～」と言うタレントの表情が笑っている場合が多い。「一種独特の世界観があって、私には理解しかねます」または「高尚過ぎて私には・・・」という謙譲の意味まで含んでいたりする。京都弁に近い概念。技術的には、上五「誉めてるの」という口語と「けなしているの」という対比がどうか。つまり、上五が「い抜きの口語」なら中七も「けなしてるの」という口語であればとおもう。音字数の関係でだろうが、もしくは、「誉める」「けなす」のどちらかだけを使って句に仕立て上げられればと思う。

「誉めているの けなしているの 個性的」

「喜んでいいのか個性誉められる

」

整形で恋人そしてゴールイン

相当うまく整形手術が成功したようで、惚れられちゃったというか、惚れさせたというか、そのあと結婚しました。という面白さがどのくらい持続するものかという懸念。

技術的には、恋人とゴールインはどちらか一方だけでいいのではないかと思う。また、もう少しドラマを広げられるような、思い切った設定があってもいいのかも、

「パパに似ていたので整形がばれず」

こそ泥の足音を消す夜半の雨

「よわの雨」が「足音を消す」と言ってしまうのは、状況の報告・説明・解説になってしまう。

「泥棒の後押しをする夜の雨」

稼いでる中央線は病気がち

この中央線は東京～高尾（大月）間までのことか、運休、事故、多いことの比喻？稼いでいるとは中央線の込み具合のことか？

ピストルを持つと撃ちたくなるんです

専守防衛、集団的自衛権は認めず、などという自衛隊に対してのアイロニー
技術的には「ん」と「の」を比較してみたい。

のびのびと伸びて葉ボタン苦笑い

「のびのびと伸びて」いるのに何故「苦笑い」なのかがわからない。

いや「苦笑い」しているのは庭の持ち主かも。つまりは「のびのび」という表現に問題がある。

十五の春の十八金の書き心地

中学卒業、高校入学のお祝いに万年筆をもらったことに対する感激。

飽食の国で嗤ったキリギリス

「嗤う」という文字の必然性を考える。

逆算の結果なんかじゃないあたし

「逆算の結果」がわからない。「なんかじゃないあたし」ということから、もしかして「消去法で選ばれた結婚相手、恋人、妻」という意味かも

演説の脇で寝ているホームレス

孫は来ず鐘馗の軸だけ垂れ下がる

【鐘馗(しょうき)】鐘馗(しょうき)とは伝説の人物であり中国の唐時代に玄宗皇帝を厄病妖怪から救ったと言われていいます今では疫病退散、家内安全の神とされています

伝承では、「玄宗皇帝は病に伏して夢をみた。」熱で苦しむ枕もとに「虚」、「耗」という小鬼が現れ、楊貴妃の香袋と笛を盗んで行こうとしていた。誰かいないのか！と大声で叫ぶと、どこからともなく破帽子をかぶり角帯をつけ革靴をはいたひげ面の大男が現れ、あっという間に鬼を食べてしまったという。

小鬼より怖い形相でたつその者の正体を問うと、「私は終南山の鐘馗と申します。科挙の試験に失敗し、国に帰るのを恥じて自らの命を絶ちましたが、帝に手厚く葬られました恩で鬼を退治するために参りました。」夢から覚めた皇帝の病は不思議にもすっかり治っていた。そこで、絵師に命じて夢で見たままの鐘馗の姿を描かせ、災厄を祓う守り神とした。」とあります。

人間傲慢絶滅危惧種危機

すべて漢字で書かれた句。ご苦労様です。ただ、内容が当たり前のことなのが残念。

「ニンゲンゴ ウマンゼツメツ キグシュキキ」

は

清貧が普通の暮らし里の村

「清貧が普通の暮らし」なのは文化なのか政治の結果「清貧」に甘んじているのか

知る権利かざしてマイク追って来る

誰が知りたがっているのか？と聞きたいほど、最近のマスコミの報道はどうでもいいことが多い。権利というものについての皮肉として面白い。

肉体と心で生きる無我遠く

「無我」という「無我の境地」というのか、無我夢中ともいうが、私心のないこと。さて、無我に絶対的価値を置いているのは作者。読者はどうか、同じように考えているのだとすれば、当たり前のことを書いただけになる。でなければ作者の思いの押し付けになる。ここが難しいところ。

オ一天晴れメル友になる孫の距離

「天晴れなのが誰なのか？」そこが見えにくい。おそらく作者だろうが、